

# 令和5年度 札幌駅前通地下広場事業報告書

## 1 管理業務の実施状況

### (1) 管理業務全体について

令和5年度札幌駅前通地下広場業務計画書に基づき、札幌駅前通地下広場の管理業務を実施しました。

札幌駅前通地下歩行空間は、札幌の玄関口である「札幌駅」と、古くからの商業地である「大通」をつなぎ、さらに、北日本最大の歓楽街である「すすきの」まで接続することで、各地区間の回遊性を高めるとともに、通路の両側および交差点下に広場空間（以下「広場」）を設け、新たな札幌の魅力を発信する重要な空間となっています。札幌市の所管各部局の協力を得て、前回の指定管理期間の利用実績も踏まえ、単なる地下通路とならないために、制約もありながらも利用者にとって利用しやすい仕組みをつくり、にぎわいをつくるように心がけ、安定した管理業務を実施しました。

### (2) 令和5年度の事業目標として掲げた5項目について

広場は、施設のコンセプトを設け、重要性に鑑み、指定管理者として施設の効用を発揮するようなイベント、効果的PRを行うとともに、「公の施設」という性質から、その利用が営利目的に偏らないような空間を目指して業務を実施しました。

各事業目標	実施状況
<b>①「札幌の顔」となる空間としての価値創造（ブランディング）の推進とにぎわいの創出</b> ○札幌・北海道の魅力発信 ○札幌独自の都市文化の創造	札幌のみならず北海道各地のイベント案内や、観光PRのために観光振興・集客交流・企業活動の活性化を目指しました。
<b>②様々なひと・もの・ことが主役となれる場の提供</b> ○市民活動の促進 ○人に優しいホスピタリティ空間の創出 ○調査・研究・フィールドワーク等の場としての活用	休憩スペースやフェイクグリーンを設置するなど、人に優しい空間演出を行いました。営利企業だけでなく、市民活動を含めた幅広い主体への貸出を行いました。また、自主事業として案内所を設置しました。
<b>③安心・安全な広場運営</b> ○平常時の安心・安全な運営 ○災害時等の円滑な運営	多くの方々が通行する通路部分とイベント利用・滞留可能な広場部分が共存した空間のため、通行者に配慮するとともに、広場利用者が安全にイベントを行うことができるようなルールの運用に努めました。

<p>④札幌駅前通地下広場を起点とした新たなまちづくりのシステム構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○エリアマネジメントの推進</li> <li>○活発な自主事業・地域活性化活動の実施</li> </ul>	<p>自主事業で行っているクラシェをチ・カ・ホ以外の公開空地で実施。今後の接続空間のあり方や使い方について検討しました。また、街中に子供を遊ばせる場所がないという声を受け、まちに保育室を作り回遊性の向上と冬場の有効的な活用法を実験しました。</p>
<p>⑤効率的管理運営の推進のために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○効率的・効果的な事業運営による収入増と経費削減</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染症法の分類が5類に移行後、広場の利用が増加し目標の収益を上げることができました。またコロナ禍の中で始めたオンライン説明会や初めてチ・カ・ホを利用する方に向けた企画、期間限定「はじめてプラン」を設定し新規利用者を増やしました。</p> <p>札幌市が定めた条例・規則に則り、申請手続きや接客、事務処理等において、平等利用及び透明性の確保に努めました。業務に合わせ、適宜人員配置を見直し、限られた人員の中でも、効率的に業務が行えるよう、社員一同創意工夫するとともに、経費削減に努めました。また利用者に不便をかけることないよう、速やかに対応することをモットーに運営してまいりました。</p>

### (3) 平等利用の確保に向けた考え方と取組

札幌市が定めた条例・規則に則り、申請手続きや接客、事務処理等において、平等利用及び透明性の確保に努めました。また市民にとってより身近な親しまれる施設になるような対応に努めました。

#### ■実施した取組

- ・幅広い情報媒体を使つてのプロモーション活動や遠方の方でも利用しやすい仕組みとするため、インターネット、電話等での簡便な申請手続きを確立し、利用機会の増進を図りました。
- ・利用しやすいよう、社員には各種研修を受講させ、ホスピタリティのある接客や、素早い事務処理などの能力を身に付けることに努めました。
- ・利用者の属性や団体の目的などにより、不当な差別的取扱いが生じないよう心がけました。

- ・記録・モニタリング・報告・評価について適切に対応しました。
- ・オンライン利用説明会や期間限定で「広場」をはじめて利用する方に向けた特別プランの企画を実施し、利用者の利便性向上に努めました。

## 2 統括管理業務の実施状況

### (1) 業務計画全体について

業務計画書に記載した基本方針に基づき、計画どおりの人員体制と勤務体制で実施しました。

#### ア 責任者の配置、組織の整備

##### ■ 基本方針

地元根付き地域関係者と密に連携しながら業務を行うことを重視し、柔軟かつ機動的な組織とし、以下の体制での運営を行いました。

管理運営業務の統括責任者を統括マネージャー、統括責任者の職務代理者を営業・管理グループ長とし、自主事業の実施等に関わる責任者を統括マネージャーとして、計 13 名の職員で業務を行いました。

職務分掌や、決裁に関しては当社処務規定に基づき、業務が滞ることなく円滑に行えるような組織体制を整備し、緊急時には、スタッフから各部門責任者・統括責任者までの連絡体制を整えることで、迅速な対応に心がけました。

##### ■ 緊急時の対応

緊急時には供用時間外にも必要な連絡体制を整えるとともに、担当社員が、現場対応できる体制を整えました。

#### イ 従事者の確保、配置

##### 職員配置計画・職員採用計画

指定管理者として適切な業務運営を実施するために、統括マネージャー 1 名を責任者に、担当職員を 9 名配置し、業務を行いました。

#### ウ 労働関係法令の遵守、雇用環境の維持向上

施設の供用時間が午前 6 時 00 分～翌日午前 0 時 30 分と早朝・深夜に及ぶこと、イベントの開催や設営・撤去等で不規則な勤務時間や土日祝日勤務の必要があることから、社員においてはシフト勤務制を適用し、業務の実行に支障のないよう、効率的かつ柔軟な勤務形態としました。

なお勤務条件等については、労働基準法及び当社就業規則等を遵守し、社員それぞれの希望に応じて、「仕事」と子育て地域活動等の「OFF の時間」の調和がはかれる状態を配慮しました。育児や介護をしながらでも安心して就業できる環境整備を行うことが重要であるという認識のもと、子育て世代への支援手当の支給や、法令上は無給でも差し支えない看護休暇の有給休暇化、育児・介護を行っている社員に対する就業時間の弾力的運用など、様々な施策を実施

しました。新型コロナウイルスを契機に制度が始まった在宅勤務・リモートワークは現在も継続しており、セキュリティに十分配慮した上で、それぞれにあった働き方で最大の効果を発揮できるよう環境を整えました。

## (2) 管理水準の維持向上に向けた取組

限られた人員体制で効率的な管理運営を実施するため、以下の取組を実施しました。

### ① スタッフミーティング

2週に1度、スタッフミーティングを実施し、業務の進捗、問題点の相談、フィードバックなどについて確認や意見交換を行いました。また必要に応じて臨時ミーティングを開き、情報共有に努めました。3か月に1度、役員を含めた全体会議を実施し、情報共有や意見交換を行いました。

### ② 引継ぎの徹底

業務の情報共有や利用者などからのトラブル防止を目的に、シフト交替時には、業務の引継ぎを十分に行いました。

### ③ 業務マニュアルの整備

業務のプロセスを分析し、業務ごとにマニュアルを整備しました。マニュアルの活用により、複数の業務を処理できる人材の育成に努めています。

### ④ 研修の実施

地下広場の活用クオリティをあげるための専門性の向上させるため、研修・意見交換会に参加しました。(資料1 研修結果報告)

## (3) 第三者に対する委託

広場は、一日におよそ9万人の人流がある地下歩道の一部に設置される公の施設です。したがって、広場の利用者はもちろん、歩行者に対する十分な配慮が求められます。

そこで、両者に対して、快適かつ魅力ある空間を提供していくため、高水準の技術やサービス・ノウハウを有する事業者に、一部の業務を委託しました。委託業者には月次報告書、完了報告書を提出してもらい、履行確認を行いました。

委託業者は、以下のとおりです。

業務内容	契約日	委託業者	契約額 (消費税等込)	履行完了日	弊社 担当
施設の清掃業務	令和5年 4月1日	日興美装工業(株)	10,533,600円 (指名競争入札)	令和6年 3月31日	経営
常置場管理業務	令和5年 4月1日	日興美装工業(株)	3,234,000円 (随意契約)	令和6年 3月31日	経営

巡回点検業務	令和5年 4月1日	(株)キタデン	3,801,600円 (随意契約)	令和6年 3月31日	経営
大型映像設備の 保守管理業務	令和5年 4月1日	(株)テクノラボ	2,329,800円 (随意契約)	令和6年 3月31日	経営
大型映像装置の 運營業務	令和5年 4月1日	札幌テレビ放送(株)	9,900,000円 (プロポーザル)	令和6年 3月31日	経営
映像広告に関する 広告代理業務	令和5年 4月1日	(株)NKB 北海道支社 (株)えんれいしや (株)オリコム札幌支店 (株)近宣札幌支店 (株)電通北海道 (株)道新サービスセンター 表示灯(株)札幌支店 (株)北海道博報堂 (株)ノヴェロ	0円	令和6年 3月31日	営業
	令和5年 8月1日	(株)東急エージェン シー北海道支社	0円	令和6年 3月31日	営業

(4) 札幌市及び関係機関との連絡調整

管理運営水準及びサービスの維持向上を図るため、札幌市や関係機関との協議の場を設置し、必要に応じて連絡調整を行いました。

■ 札幌駅前通地下広場運営協議会（以下「運営協議会」という。）の実施

① 運営協議会の開催

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

開催回	協議・報告内容	
運営協議会	5/19	・令和4年度の事業報告 ・令和5年度の上期稼働状況 ・その他
運営協議会	8/22	・広場利用状況 ・アンケートの実施状況 ・その他
運営協議会	11/17	・広場利用状況 ・その他
運営協議会	2/16	・広場利用状況 ・アンケートの実施状況・その他

※その他必要に応じて適宜打ち合わせを開催した。

※協議会メンバー：

札幌市都市交通課、札幌市都心まちづくり推進室、地域代表者、  
札幌駅前通まちづくり株式会社

② 協議内容

- ・指定管理業務の運営状況報告
- ・管理運営に係る各種規程、要綱、マニュアルの作成及び改定
- ・広場の市民サービスや管理運営水準の維持向上に向けた取組など
- ・その他協議会での協議を必要とするもの

③ 記録及び周知

運営協議会の内容は記録し、要旨を作成して、札幌市に報告しました。

## ■ 関係機関との連絡調整

当施設には、道路空間の一部に設置される公の施設であるとともに、一部国道区間も含まれることから、管理業務の遂行にあたり、市以外の関係行政機関との連絡調整を円滑かつ的確に行いました。

特に、地下歩行空間全体を使用する大規模イベントや混雑が予想されるイベント等については、案件毎に関係機関に事前相談を行い、円滑な実施と通行者の安全確保に努めました。

## (5) 苦情対応

広場の利用者や地下歩道の通行者などからのご要望や苦情（以下「苦情等」）は、管理運営やサービスの水準を高める好機と捉え、迅速かつ適切に対処しました。今期はこうした要望等を踏まえ、より適切な利用が行われるように利用規約の見直しを行いました。

・方法

要望・苦情対応についてはマニュアルを作成し、全社員に周知しており、問合せについては、3日以内に返答するようにしています。また電話によるものについては、受けた者が社内共有ツールに回答内容も含めて記入し、全社員で情報共有しました。問合せ・要望については、月次報告書提出時に一覧にした上で広場管理者に報告し、札幌市関係部局にスムーズに引き継ぎました。地下広場以外のお問い合わせの際は、札幌市の各所の連絡先をご案内しました。

## (6) 記録・モニタリング・報告・評価

当社は、管理運営の水準及びサービスの維持向上を図るための手段として、記録・モニタリング・報告・評価について、誠実かつ適切に対応するとともに、管理運営に関する情報を適時適切に開示し、信頼性・透明性の確保に努めました。

これらの実施にあたっては、管理運営に関する課題や問題点を早期に発見して、継続的に改

善を図る仕組みを構築していきました。

- ・今年度実施したモニタリング（資料 2 札幌駅前通地下広場アンケート集計）  
札幌駅前通地下広場利用者アンケート  
通行者アンケート  
ビジョン放映視聴頻度調査

### 3 施設・設備等の維持管理に関する業務の実施内容

#### (1) 業務計画全体について

業務計画書に記載した基本方針に基づき、ほぼ計画どおり実施できました。また、適切な施設賠償保険（指定管理業務プラン）に入りました。

#### (2) 具体的な維持管理業務

##### ■ 清掃業務

日常清掃、定期清掃、塵芥処理とも、日興美装工業株式会社に委託して実施しました。利用者が安全かつ快適に利用してもらえる環境を整えるとともに、収集及び回収した塵芥は、廃棄物処理に関する関係法令に基づき、適切な処理を行いました。また、収集場所においては、分別を徹底し、衛生的な環境を保つように心がけました。特に今年度は貸出備品等の消毒を都度行い、より一層安心して利用いただけるよう努めました。

##### ■ 設備の保守点検業務（大型映像設備の運営及び保守）

###### ① 大型映像設備保守業務

広告、行政情報、イベント等の映像を、適時に最良な状態で発信するため、株式会社テクノラボに委託し、設備の日常点検、各機器の設定等の確認を適切に実施しました。不具合が生じた場合は広場管理者に報告しました。また、映像モニタの汚れ除去や輝度調整についても、定期的に点検しました。

###### ② ピクチャーレール、ライティングレール、活用コンセント

利用者の安全確保を第一に考え、設備の劣化や損傷がないか、巡回して点検しました。

##### ■ 修繕（資料 3-1 修繕記録）

利用者の安全を確保し、設備の機能を良好に維持するため、破損、故障等が発生した場合は、速やかに原因を究明し、必要な対応を行い、その結果は、遅滞なく広場管理者に報告しました。

##### ■ 備品管理（資料 3-2 備品点検表）

備品の管理については、備品台帳を作成し、適切な場所に保管しました。また、利用者からの返却時には、個数及び状態等の確認を確実にするとともに、月に1度備品点検日を設け、入念にチェックしました。

#### (3) 防災業務計画

火災、震災その他の災害発生時に即応できるよう、防災・安全管理体制を確立し、災害時に

おける被害軽減及び人命の安全確保を図ることを目的として、防災研修を行いました。また「札幌駅前通地区防災協議会」では、図上訓練を行い、マニュアルの要確認事項を洗い出しました。札幌駅前通地下歩行空間防災センターと接続ビル 12 か所の防災センターを繋ぐ「防災情報伝達システム」の操作方法習熟と機器不具合を早期に発見、修理することを目的に、定期訓練を行いました。また、日々の巡回の中で避難口・消火器等の位置などを確認しました。

■「防災研修」：(資料 4 防災研修記録)

#### 4 事業の計画及び実施に関する業務の実施内容

設備を活用した情報発信及び必要なコンテンツ等の収集に関する取組と実施結果

(資料 5 大型映像装置稼働割合)

広場の設置目的である、にぎわいの創出の実現に向け、大型映像設備の一般利用及びイベント実施時利用を除く時間において、情報発信を実施計画に基づき積極的に行いました。

#### 5 施設の利用等に関する業務

(1) 交差点広場等貸出計画について (資料 6 利用状況報告書)

業務計画に基づき、業務を実施しました。

(2) 利用促進計画について

広場の活用促進がにぎわいを創出し都心の回遊性を高めるとの認識のもと、貸し出しサービスの向上や市民に喜ばれるアート企画の実施など、職員一同総力を挙げて努力して参りました。

令和 5 年度は、コロナ禍が開け利用者が増え地下広場の貸出度合を示す主要貸出場所の年間稼働率は約 86%となり、多くの方にご利用いただきました。

広場は「創造都市さっぽろ」をアピールする場としての空間演出や、札幌の「顔」に相応しい高質な空間であることが求められており、札幌市はその空間活用のコンセプトである「“創造都市” 発信空間」、「“にぎわい” 演出空間」、「“ホスピタリティ” 空間」を基に空間づくりの目標像として「札幌（北海道）の顔となり、先進性、独自性のあるにぎわいを演出する高質な空間」を掲げております。

広場の活用コンセプトに基づく利用を促進するために、ホームページの内容については随時見直し、利用者に分かりやすい情報発信を行いました。ホームページの 1 日あたりの平均閲覧数は 18,757 件（令和 4 年度は 18,762 件）となりました。また、利用者のイベント情報を発信するため、利用者が直接スケジュールを投稿できる仕組みを構築しており、地下歩行空間の大型映像装置と連動することで、様々なイベントスケジュールを掲載することができました。また、ネットワーク環境がない方でイベント開催情報を掲載希望する方には、内容を送付いただき入力サービスを行いました。今後もホームページからの本申請受付を増やすことで、様々なイベント情報を通行者にも届けていきたいと考えています。なお、ホームページ運用にあた

っては、札幌市公式ホームページガイドラインを参考に運用したほか、ウェブアクセシビリティについては、JISX8341-3：2016の適合レベルに準拠できるようにしました。

コロナ禍で始めたオンライン利用説明会を継続して実施し、実際の利用予約につながる機会も増えています。こうした説明会を通じ、引き続き利用促進につなげていきたいと思っております。

## 6 管理業務に関する収支決算書（資料7 収支報告書）

### (1) 収益・費用について

利用料金収入は昨年よりも増加し、年度当初予算額を達成することができました（予算達成率117.5%、2022年度比103.9%）。支出においては、適切に処理を行いました。

支出については、会社経費の節減、利用者へのサービス低下を招かない範囲での業務効率の向上などに努めていきたいと考えています。

またこれまで以上に、安心・安全に使用できることや活用コンセプトを発信し、広場の存在を広くPRするなどして、利用者の拡大を図りたいと考えています。

### (2) 利益還元について

協定書に基づき、地下広場の備品等の修理を実施しました。また、利益還元の一環として、貸出備品を更新しました（金額：4,107千円）。

## 7 会社の経営状況（資料8 令和5年度貸借対照表／損益計算書）

今期の事業収益は、売上高が303,494千円（対前期比114.9%）、営業利益は33,180千円（対前年比297.6%）、経常利益は37,778千円（対前期比166.9%）、当期純利益は24,195千円（対前期比113.1%）となりました。

## 8 自主事業の実施について（資料9 自主事業の実施状況、資料10 自主事業収支報告書）

令和5年度も、多様なにぎわいを創出し、様々な市民の方々に楽しんでいただけるとともに、広場および札幌駅前通地区が活性化につながるよう事業を進めました。またにぎわい創出事業のほか、広場利用者の利便性を考えた備品貸出事業、案内所設置、市民活動促進のためのパンフレットコーナー設置事業等も継続して実施しました。

## 9 環境配慮への取組について（資料11 環境配慮への取組結果）

業務計画書に記載した基本方針に基づき、実施しました。

## 資料1 研修結果報告

広場の活用クオリティをあげるための専門性の向上させるため、研修・意見交換会に参加しました。

### ○広場の活用クオリティをあげるための専門性の向上

#### ■ニューヨークのパブリックスペース事情・最前線！

～市民・企業と行政のパートナーシップで育む公共空間のあり方を探る～

日時：令和5年5月9日（火）14:00～16:00

主催：公共R不動産

場所：オンライン

内容：ニューヨーク市公園局 都市計画&GIS スペシャリストから、ニューヨークの公園運営事例と官民連携、共同する方法などをお聞きした。

#### ■『エリアマネジメント実務者研修#01「プレイスメイキング 講座」』

日時：令和5年6月8日（木）～6月9日（金）

主催：全国エリアマネジメントネットワーク

場所：DMO 東京丸の内（東京都千代田区丸の内3丁目2-3 丸の内二重橋ビル6階）

内容：エリアマネジメントに従事する実務者の育成、能力向上を目的に、エリアマネジメントに係わるいくつかのテーマを設定し、実務者同士のディスカッションやケーススタディを行う研修事業。#01は「プレイスメイキング」をテーマにプレイスメイキング等、公共空間活用の概論や法制度の解説、場のデザインのケーススタディを行なった。

#### ■第10回 全国まちなか広場研究会 in 富山

日時：令和5年10月20日（金）・21日（土）

主催：全国まちなか広場研究会

参加目的：全国各地の広場運営者との情報交換を通し、広場の運営に活かすため。

内容：全国まちなか広場研究会は、全国の広場や交通施策などに関わる人たちが交流し、見聞を広め、自己研さんすることを目的に、毎年1回、各都市の持ち回りで開いている。都市機能として定着しつつあるまちなか広場のこれまでを振り返り、今後について検討しあう会となった。

#### ■北海道ビルディング協会 東京ビル視察研修会

日時：令和6年3月7日（木）～3月8日（金）

主催：一般社団法人北海道ビルディング協会

受講形式：現地視察（東京都 丸の内地区、日本橋地区）

内容：東京都心の再開発の現状と、それに伴い新しく生まれる公共空間とその活用等に関する視察研修

### ○エリアマネジメントに関する専門性の向上

#### ■全国エリアマネジメントシンポジウム 2023

日時：令和5年9月4日（月）

主催：全国エリアマネジメントネットワーク

受講目的：他都市のエリアマネジメントの先進事例を学び、札幌駅前通地区のまちづくりに活かすため。

受講形式：現地（福岡県福岡市）

内容：「これからの“まちなか”における文化・クリエイティビティを考える」をテーマに開催された座談会へ参加するとともに、現地視察会にも参加。

## ○施設・組織運営のための実務能力の向上

### ■カラーユニバーサルデザインセミナー

日時：令和5年6月21日（水）

主催：札幌市広報課

受講形式：会場受講

受講内容：年齢・国籍・身体的状況等を問わず、誰にでもわかりやすい広報・情報提供を行うにあたり、色覚の多様性に配慮したカラーユニバーサルの考え方や対応したデザインについて学ぶ

### ■札幌商工会議所 経営セミナー

日時：令和5年8月3日（木）

主催：札幌商工会議所

受講形式：会場受講

受講内容：採用・離職防止などの人材確保や、生産性向上につながる人材育成のために、中小企業に適した人事制度の設計方法を学ぶ

### ■WEB アクセシビリティに関する研修

日時：令和6年3月

受講形式：オンライン動画受講 <https://waic.jp/news/20240227/>

受講目的：アクセシビリティ及びユーザビリティ、見やすいページの作成方法、既存ページの見直し方法等を理解し、わかりやすく利用しやすいホームページを作成するとともに、アクセシビリティ対応を進めるため。

### ■個人情報に関する研修

日時：令和6年2月

受講形式：オンライン動画受講 <https://www.gov-online.go.jp/prg/prg24040.html>

受講目的：「個人データの漏洩等事案と発生時の対応について」について学ぶため。

### ■環境マネジメントに関する学習

日時：令和6年3月

受講目的：環境に与える影響を十分に考慮し、省エネルギー及び省資源化の推進による温室効果ガスの排出抑制、その他環境への負荷低減に努めることにより環境への配慮に十分留意した管理運営業務を進めるため。札幌市の環境配慮取組のレポートを確認した。

## 資料2 チ・カ・ホ アンケート集計

### ■ 利用者アンケート（夏季・冬季）/通行人アンケート/ビジョン放映視聴頻度調査

目的：①地下広場をご利用頂いた利用者の満足度や意見、要望を測り今後の地下広場の利便性向上と、お客様への接客サービスの向上を目的として実施した。

②チ・カ・ホを通行する方からも客観的な意見をいただき、全体的なバランスと調和を測ることを目的にアンケートを実施した。

③交差点広場に設置されているビジョンの視聴頻度や視聴内容について調査し、今後の放映内容を検討するため実施した。

実施：①令和5年7月（夏季）・令和6年1月（冬季）【利用者アンケート】

②令和6年1月【通行人アンケート】

③令和6年3月【チ・カ・ホ利用者意識調査】

配布・回収方法：①毎日の地下巡回時に利用者にWEBアンケート用QRコードが記載された用紙を手渡し、8/6までに回答をお願いした。ネット環境がない方にはこれまで通りアンケート用紙を手渡し、イベント終了後に回収

※各グループ1枚配布。

②チ・カ・ホ北3条交差点広場（東）にアンケート回収BOXを設置、自由に記載し、投函してもらうこととした。

③ネットリサーチ（北海道在住でチ・カ・ホを利用したことがある男女15～69歳を対象とした）

回収件数：①7月：48件/117件、1月：37件/89件 回答率42.3%

②12月：17件

③3月7日（木）～11日（月）：400件

主な結果：

#### 【①利用者アンケート】

アンケート回答者の属性	夏季に実施した際には60代以上の回答者が一番多く全体の40%。10代～70代まで全年代から回答をいただいた。男女比ほぼ同数。冬季実施分は50代の回答者が多く全体の40%。女性回答率は57%。コロナ後は夏・冬ともに企業や団体での参加が増えた。また、WEB回答にしたことで幅広い層からの回答が得られた。
利用者からの意見・要望とその対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな方に見てもらえることで普段接しない方にもマーケティングできる</li> <li>・天気に左右されず、集客力がある</li> <li>・交通の便がよく、お客様のリピートにつながりやすい</li> </ul> <p>→人の流れが多く、いろいろな方に見てもらいPR効果があると感じていることに満足している人が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント開催の時、点いていないライトを点灯してほしい。各会場のライトを増設してほしい。</li> </ul> <p>→施設管理者との協議が必要ではあるが、チ・カ・ホLED化の工事が今年度から始まるので、今後に期待したい。</p>

【② 通行人アンケート】

アンケート回答者の属性	<p>男性：12人、女性：4人、未回答：6人 計22人</p> <p>10代：1人、20代：1人、30代：0人、40代：4人、50代：4人、60代以上：6人、未回答：6人</p> <p>札幌市内：15人、道内：1人、道外0人 未回答：6人</p>
結果概要	▽施設に対する要望やイベントに関する意見が多かった。
利用者からの意見・要望とその対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの表示がわかりづらく、間違っ入ってくる人がいる。 →関係部署に意見として伝える。</li> <li>・会場の照明が暗い →関係部署に意見として伝える。</li> </ul>

【③ ビジョン放映視聴頻度調査】

アンケート回答者の属性	<p>男性：200人、女性：200人 計400人</p> <p>15～29歳、30代、40代、50代、60代 各年代80人</p> <p>札幌市内在住：256人、札幌市以外在住：144人</p>
結果概要	<p>▽ビジョン放映の視聴頻度は『見ている(いつも+たまに)』が29.5%となっている。年代別では若い層ほど見ている割合が高い。</p> <p>▽ビジョン放映で見ている映像は『観光映像』が最も多く、次いで『様々なCMの映像』、『天気予報』、『道内ニュース』と続く。</p> <p>▽ビジョン放映をどう思うかについては色々な情報を知ることができるので良い。チ・カ・ホが賑やかで良い。『放映は必要ない』は少ない。</p> <p>▽ビジョン放映を『あまり見ない+まったく見ない人』と答えたのは282人。見ない理由について聞いたところ、『特に理由はない』が多く、『放映している内容に関心が無いから』も多くなっている。</p>
自由回答	<p>どのような情報や映像を放送したらよいと思いますかについては、『札幌エリアの天気情報』が最も多い。次いで近隣のお店の『グルメ・ショッピング・イベントなどの情報』を求める意見などが多くみられた。</p> <p>『道内の交通情報』、『札幌エリアの観光情報』、『ニュース』などを求める意見も多く見られた。</p>

以上

## 資料3-1 令和5(2023)年度 備品・施設修繕記録簿

## 1.備品(指定管理)

	発生日	修繕完了日	支払日	内容	金額
1				今年度はなし	

合計 0

## 2.施設

	発生日	修繕完了日	支払日	内容	金額(円)
1	3月23日	4月30日	5月31日	常置場002 レバーハンドル錠交換作業	44,000
2	7月22日	9月1日	10月31日	北3条交差点広場(西)南北モニター故障修理	363,000

合計 407,000

## 3.備品/備品用消耗品購入(指定管理)

	納品日	物品名	金額(円)
1	9月1日	屋根付きワゴン用MKコンセント購入	9,350
2	9月1日	電源ドラム用コンセント購入	5,500
3	2月1日	貸出備品アームスポットライト20個	224,400
4	3月21日	貸出備品オープンカフェセット(机1卓、椅子2脚) 40セット	3,883,220

合計 4,122,470

資料 3-2 備品点検実績表（定期点検）

	点検日	点検者	備考
1	4月3日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	いずれの備品も経年の汚れ、テープ跡が目立つ(使用に問題なし)
2	6月1日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	〃
3	6月1日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	〃
4	7月3日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	〃
5	7月30日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	ワゴン車輪故障⇒社内修理済
6	9月1日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	カフェテーブル1ヶ故障⇒社内修理済
7	10月2日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	いずれの備品も経年の汚れ、テープ跡が目立つ(使用に問題なし)
8	11月6日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	カフェテーブル1ヶ故障⇒社内修理済、ワゴン羽根つき扉故障⇒社内修理済
9	12月4日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	〃
10	1月4日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	〃
11	2月4日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	〃
12	3月1日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	ワゴン車輪故障⇒社内修理済

## 資料4 防災研修記録

### 【札幌駅前通地区防災協議会研修・訓練への参加】

研修①地域防災の取組

日時 : 令和5年9月6日(水) 11:00-12:00

受講形式 : オンライン

主催 : 札幌駅前通地区防災協議会(弊社事務局)

研修目的 : 地域防災と防災備蓄の重要性について学ぶため。

参加者 : 札幌駅前通地区防災協議会会員・オブザーバー

結果 : 大災害への備えについては、原則として「自助・共助・公助」の順序が鉄則であるが、寒冷地・観光客の多さ・支店が多いといった地域特性を考慮する必要があることを改めて認識することができた。

訓練①防災訓練(図上訓練)

日時 : 令和5年11月7日(火) 14:00-16:00

会場 : 札幌駅前通まちづくり株式会社会議室

主催 : 札幌駅前通地区防災協議会(弊社事務局)

目的 : 一時滞在施設の開設から閉鎖までの一連の流れを図上で検証し、一時滞在施設運営マニュアルの内容を検証するとともに、今後の取り組み改善に繋げることを目的とする。

参加者 : 札幌市・札幌駅前通地下歩行空間防災センター・札幌駅前通まちづくり株式会社

結果 : 図上訓練を行うことで、マニュアルの要確認事項を洗い出すことができた。

訓練②防災情報伝達システム定期訓練への参加

日時 : 毎月第2水曜日

場所 : 札幌駅前通地下歩行空間防災センター及び接続ビル(合計12か所)

目的 : 札幌駅前通地下歩行空間防災センターと接続ビルの防災センターを繋ぐ「防災情報伝達システム」の操作方法習熟と機器不具合を早期に発見、修理することを目的とする。

参加者 : 札幌駅前通地下歩行空間防災センター(警備、設備)・防災情報伝達システム子機を設置するビル・札幌駅前通まちづくり株式会社

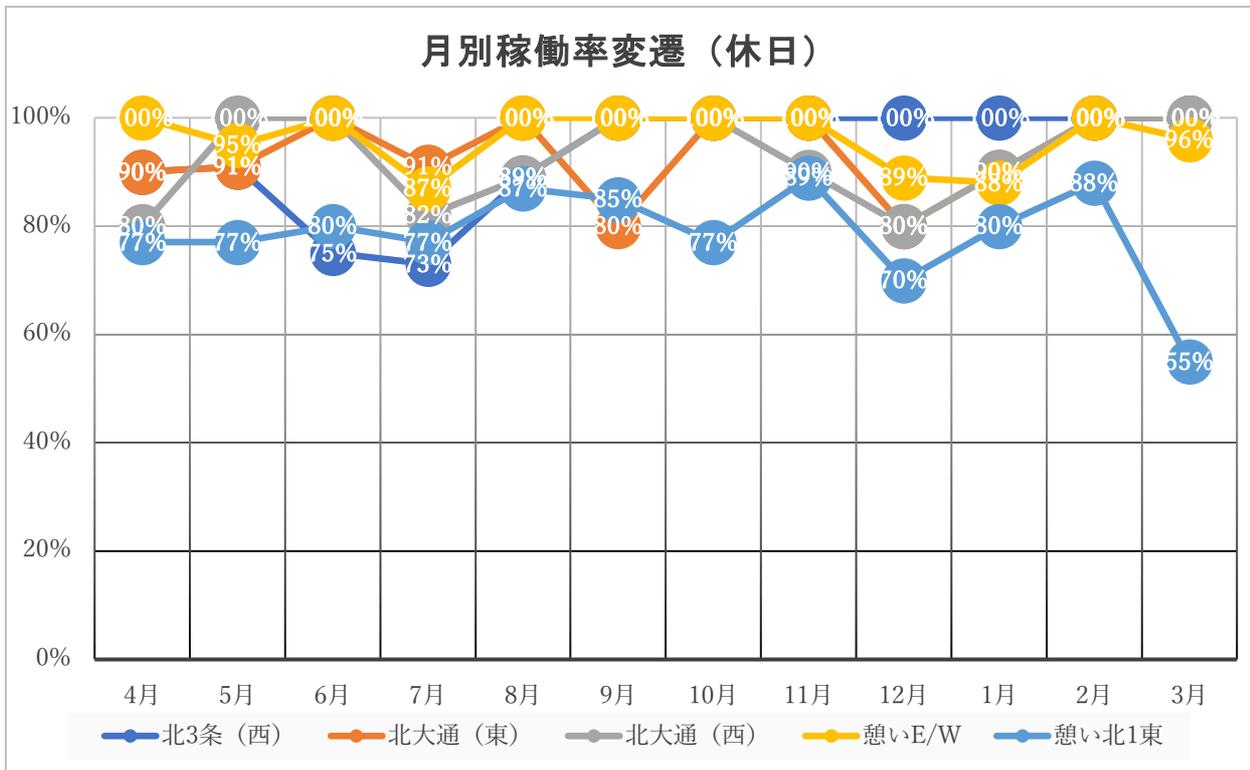
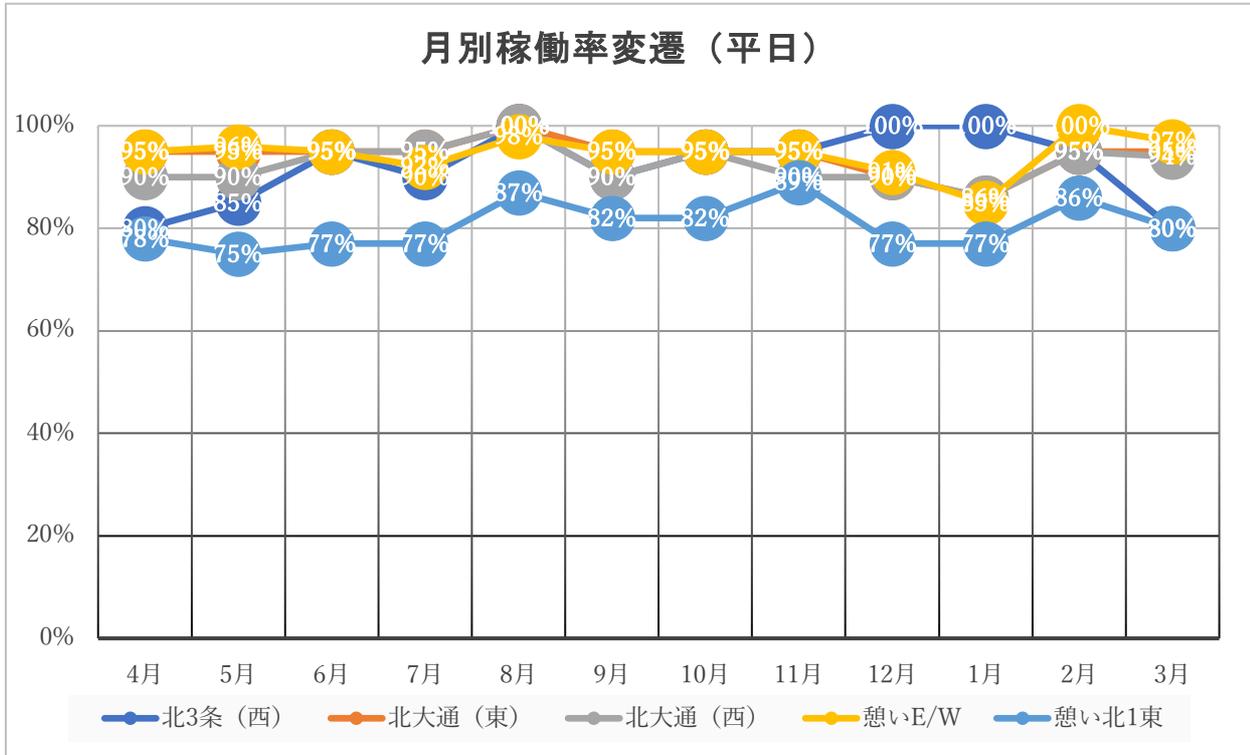
結果 : 定期的な訓練を継続実施していることで、不具合の早期対処(修理手配)にも繋がり、地域全体としての連絡機能を維持・回復することができた。

また、日常の貸出にあたっては、非常口・避難通路・消火栓・防火シャッター下降部分周辺、施錠部を塞がないようにし、設営資材の集積及び物品の保管等はしないよう、利用者に対して周知し、安全確保に努めた。



資料6 地下広場 利用状況報告書

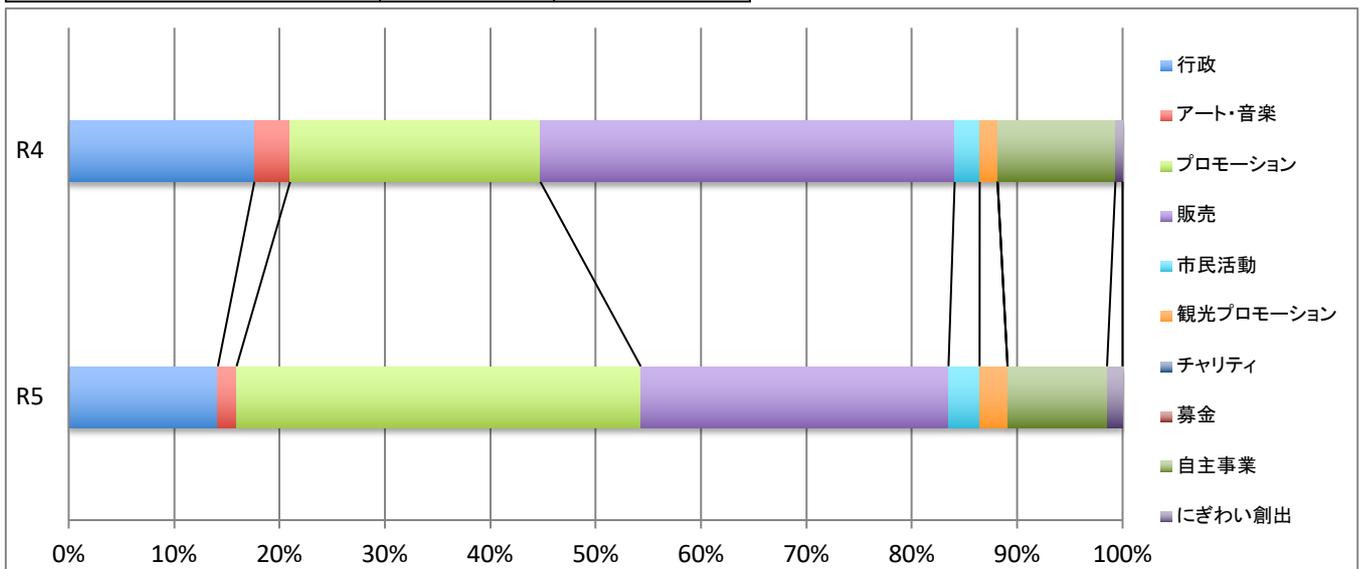
令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行後、利用が順調に回復し、主要貸出場所の年間稼働率は約86%となりました。(詳細稼働率については別表を参照)



●北3条交差点広場(西) 339日稼働(平日稼働率92%、休日93%)

表1: 北3条交差点広場(西) 利用分類

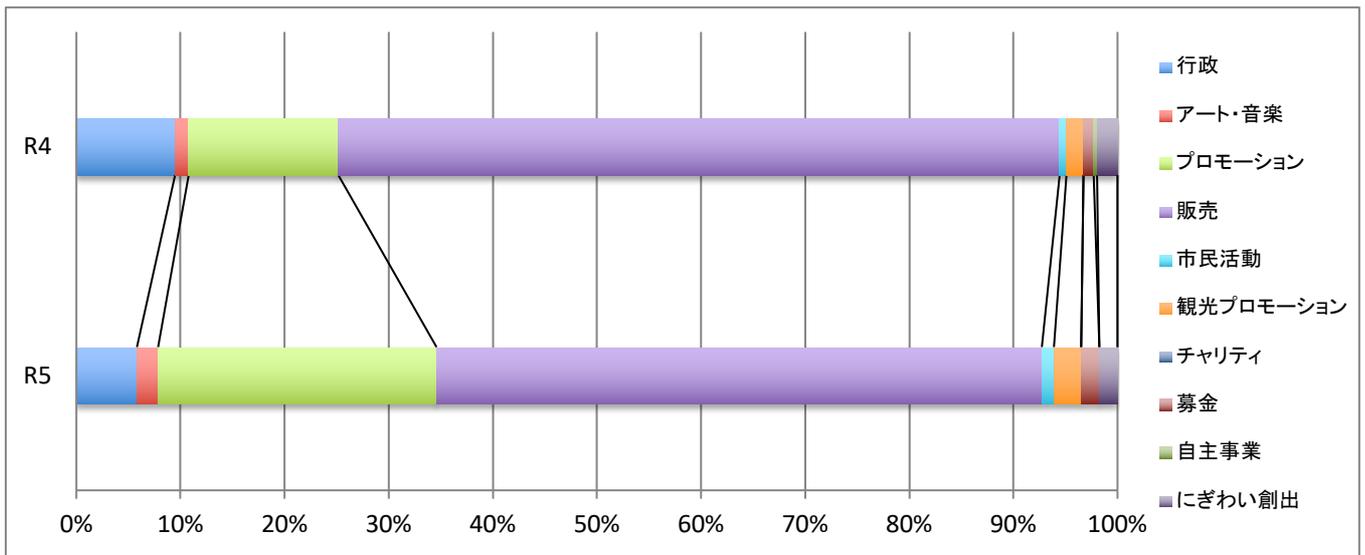
	R4	R5
行政	17.6%	14.2%
アート・音楽	3.4%	1.8%
プロモーション	23.7%	38.3%
販売	39.3%	29.2%
市民活動	2.4%	2.9%
観光プロモーション	1.7%	2.7%
チャリティ	0.0%	0.0%
募金	0.0%	0.0%
自主事業	11.2%	9.4%
にぎわい創出	0.7%	1.5%
	100%	100%



●北大通交差点広場(東) 344日稼働(平日稼働率94%、休日稼働率93%)

表2: 北大通交差点広場(東) 利用分類

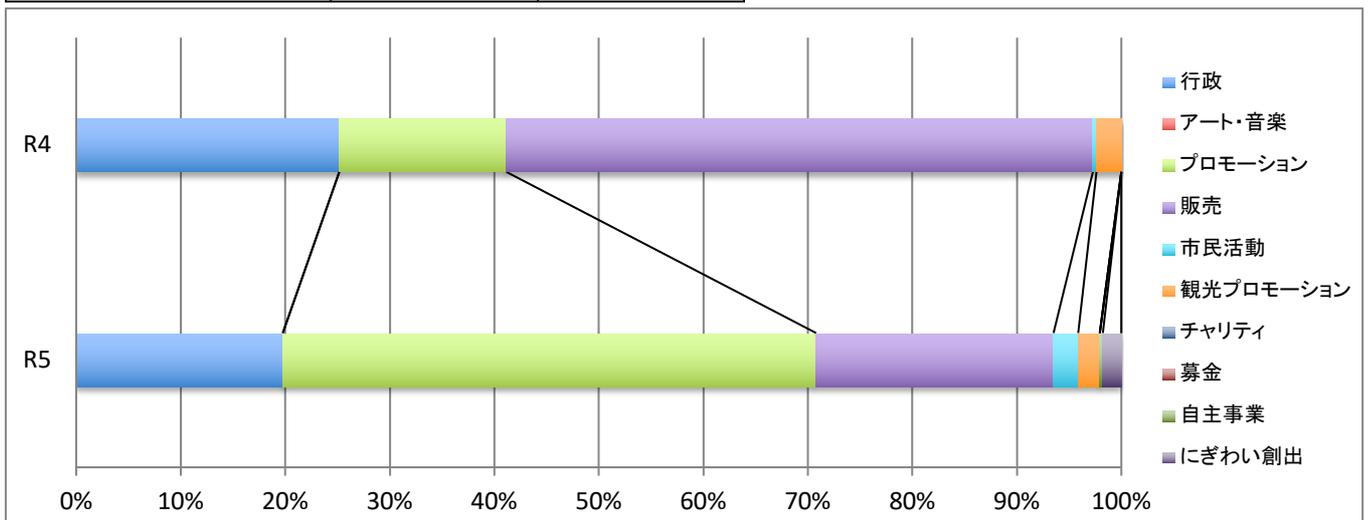
	R4	R5
行政	9.5%	5.8%
アート・音楽	1.3%	2.0%
プロモーション	14.4%	26.7%
販売	69.3%	58.1%
市民活動	0.7%	1.2%
観光プロモーション	1.6%	2.6%
チャリティ	0.0%	0.0%
募金	1.0%	1.8%
自主事業	0.3%	0.0%
にぎわい創出	2.0%	1.8%
	100%	100%



●北大通交差点広場(西) 339日稼働(平日稼働率93%、休日稼働率93%)

表3: 北大通交差点広場(西) 利用分類

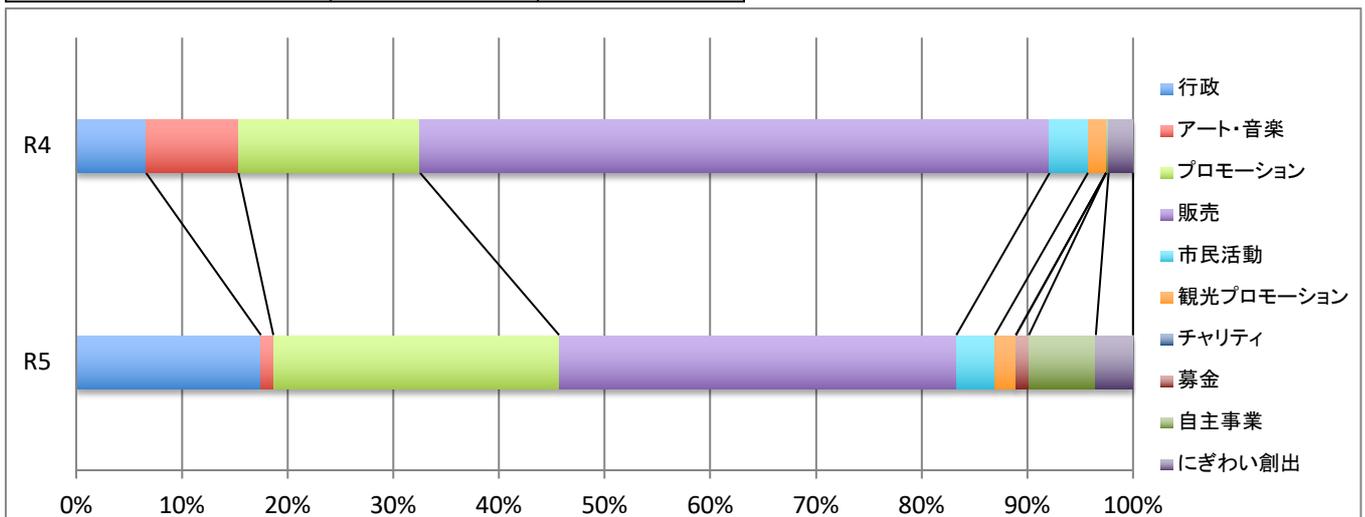
	R4	R5
行政	25.2%	19.8%
アート・音楽	0.0%	0.0%
プロモーション	16.0%	51.0%
販売	56.1%	22.6%
市民活動	0.3%	2.4%
観光プロモーション	2.4%	2.1%
チャリティ	0.0%	0.0%
募金	0.0%	0.0%
自主事業	0.0%	0.3%
にぎわい創出	0.0%	1.8%
	100%	100%



●憩いの空間 E/W 1,705 枠稼働（平日稼働率 95%、休日稼働率 96%）

表 4：憩いの空間 E/W 利用分類

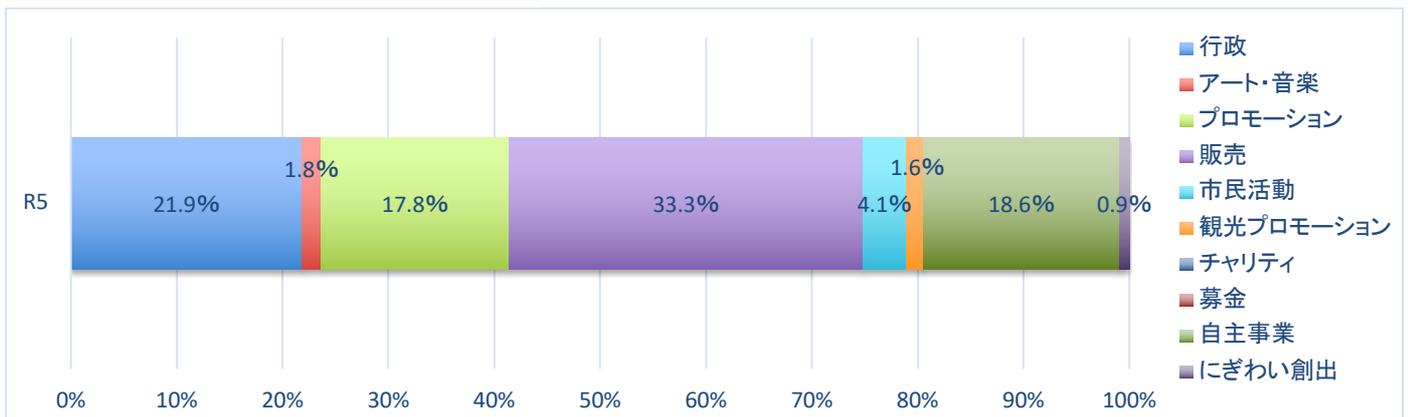
	R4	R5
行政	6.6%	17.5%
アート・音楽	8.7%	1.2%
プロモーション	17.2%	27.0%
販売	59.6%	37.7%
市民活動	3.6%	3.6%
観光プロモーション	1.7%	2.0%
チャリティ	0.0%	0.0%
募金	0.0%	1.2%
自主事業	0.2%	6.3%
にぎわい創出	2.3%	3.5%
	100%	100%



●憩いの空間 北1条東 （平日稼働率 80%、休日稼働率 78%）

表4：憩いの空間 北1条東 利用分類 ※R5 から一般貸出場所とした。

	R5
行政	21.9%
アート・音楽	1.8%
プロモーション	17.8%
販売	33.3%
市民活動	4.1%
観光プロモーション	1.6%
チャリティ	0.0%
募金	0.0%
自主事業	18.6%
にぎわい創出	0.9%
	100%





札幌駅前通地下広場  
(指定管理)

決 算 報 告 書

---

---

自 令和 5 年 4 月 1 日  
至 令和 6 年 3 月 31 日

札幌駅前通まちづくり 株式会社

札幌市中央区北 3 条西 3 丁目 1 番地

# 損益計算書

札幌駅前通まちづくり株式会社（札幌駅前通地下広場指定管理）

自 令和 5年 4月 1日

自 令和 6年 3月 31日

単位：円

科 目	金 額	金 額
【 売 上 高 】		
利 用 料 収 入	115,317,961	
そ の 他 収 入	0	115,317,961
【 売 上 原 価 】		
売 上 原 価	37,478,272	37,478,272
		売 上 総 利 益 金 額
		77,839,689
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】		76,398,094
		営 業 利 益 金 額
		1,441,595
		経 常 利 益 金 額
		1,441,595
		税 引 前 当 期 純 利 益 金 額
		1,441,595
		法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税
		417,020
		当 期 純 利 益 金 額
		1,024,575

# 販売費及び一般管理費

札幌駅前通まちづくり株式会社（札幌駅前通地下広場指定管理）

自 令和 5年 4月 1日

自 令和 6年 3月 31日

単位：円

科 目	金 額
役 員 報 酬	0
給 与 手 当	31,175,765
賞 与	12,154,714
法 定 福 利 費	7,999,922
福 利 厚 生 費	1,551,334
外 注 費	429,617
旅 費 交 通 費	1,158,669
通 信 費	597,913
減 価 償 却 費	340,377
地 代 家 賃	8,578,036
リ ー ス 料	338,977
保 険 料	206,859
修 繕 費	186,802
水 道 光 熱 費	630,317
消 耗 品 費	1,284,519
租 税 公 課	7,747,499
事 務 用 品 費	348,600
広 告 宣 伝 費	380,190
支 払 手 数 料	948,368
諸 会 費	169,240
新 聞 図 書 費	144,408
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	6,187
雑 費	19,781
合 計	76,398,094

# 売上原価報告書

札幌駅前通まちづくり株式会社（札幌駅前通地下広場指定管理）

自 令和 5年 4月 1日

自 令和 6年 3月 31日

単位：円

科 目	金 額
【 外 注 費 】	
委 託 費	13,107,750
【 経 費 】	
旅 費 交 通 費	5,150
通 信 費	1,110
寄 付 金	4,107,620
減 価 償 却 費	0
保 険 料	209,330
修 繕 費	928,620
消 耗 品 費	596,102
租 税 公 課	11,500
清 掃 点 検 費	13,767,600
管 理 諸 費	3,801,600
広 告 宣 伝 費	142,208
支 払 手 数 料	614,882
雑 費	184,800
	24,370,522
売 上 原 価	37,478,272

# 決算報告書

(第14期)

自 2023 (令和5) 年4月1日  
至 2024 (令和6) 年3月31日

札幌駅前通まちづくり株式会社

札幌市中央区北3条西3丁目1番地



# 損益計算書

札幌駅前通まちづくり株式会社

自 2023（令和5）年4月1日

至 2024（令和6）年3月31日

単位：円

科	目	金 額	
【 売 上 高 】			
受取指定管理料		11,649,000	
利用料収入		134,172,681	
壁面広告収入		139,111,913	
その他収入		18,560,600	303,494,194
【 売 上 原 価 】			
売上原価		140,086,823	140,086,823
	売上総利益金額		163,407,371
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】			130,226,494
	営業利益金額		33,180,877
【 営 業 外 収 益 】			
受取利息		2,200	
受取配当金		55,992	
雑収入		4,570,500	4,628,692
【 営 業 外 費 用 】			
雑損失			31,350
	経常利益金額		37,778,219
【 特 別 損 失 】			
固定資産除却損			198,421
	税引前当期純利益金額		37,579,798
	法人税、住民税及び事業税		13,384,433
	当期純利益金額		24,195,365

# 販売費及び一般管理費

札幌駅前通まちづくり株式会社

自 2023（令和5）年4月1日

至 2024（令和6）年3月31日

単位：円

科 目	金 額
役 員 報 酬	6,300,000
給 与 手 当	50,381,005
賞 与	19,642,396
法 定 福 利 費	12,928,124
福 利 厚 生 費	2,507,005
外 注 費	694,277
旅 費 交 通 費	1,872,448
通 信 費	966,249
交 際 費	321,804
寄 付 金	5,000
会 議 費	137,951
減 価 償 却 費	550,062
地 代 家 賃	13,862,376
リ ー ス 料	547,800
保 険 料	334,293
修 繕 費	301,880
水 道 光 熱 費	1,018,614
消 耗 品 費	2,075,825
租 税 公 課	12,520,200
事 務 用 品 費	563,350
広 告 宣 伝 費	614,400
支 払 手 数 料	1,532,595
諸 会 費	273,500
新 聞 図 書 費	233,370
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	10,000
雑 費	31,970
合 計	130,226,494

# 売上原価報告書

札幌駅前通まちづくり株式会社

自 2023（令和5年）4月1日

至 2024（令和6年）3月31日

単位：円

科 目	金 額
【外 注 費】	
委 託 費	48,797,219
【経 費】	
旅 費 交 通 費	1,004,196
通 信 費	200,029
交 際 費	1,037,489
寄 付 金	4,107,620
会 議 費	170,430
減 価 償 却 費	446,856
地 代 家 賃	677,695
保 険 料	448,198
修 繕 費	1,294,851
水 道 光 熱 費	1,005,373
消 耗 品 費	1,751,924
租 税 公 課	92,400
清 掃 点 検 費	18,299,600
管 理 諸 費	4,232,800
広 告 宣 伝 費	2,528,936
支 払 手 数 料	37,829,892
印 刷 製 本 費	80,517
諸 会 費	330,000
支 払 負 担 金	15,310,000
雑 費	440,798
売 上 原 価	140,086,823

## 資料9 自主事業の実施状況

札幌駅前通地下広場協定書第21条第1項第4号の「自主事業の実施」の状況について、下記の通り報告します。

### ●利用者の利便性向上事業

#### (1) 備品貸出事業

地下歩行空間内は通路であり安全上、夜間に物を設置した状態にすることはできないことから、複数日にまたがる利用者の利便性を向上することを目的として、弊社が貸し出す台車に収まるサイズ内で、利用者の持ち込み品を預かるサービスを行いました。お客様からの要望の多いステージ、什器、リノリウム等の貸出も行いました。

年間利用料金収入：4,569,300円（2022年度売上4,150,300円）

#### (2) 札幌駅前通地下広場におけるビッグイシューと連携した案内ブースの設置事業

日頃より歩行者から、地下広場でのイベントや出店情報などを手軽に入手できる場所の設置要望があがっていました。この要望に応え、歩行者の利便性の向上を図るため、地下広場の案内ブースを設置しました。案内ブースの設置にあたっては、ビッグイシュー事務局と連携し、地下広場のイベント情報や地下歩行空間の道案内などの問合せに対応しました。

設置期間：通年

設置場所：北3条交差点広場（東）

案内体制：1人体制

イベント案内	道案内	観光案内	その他
323	4772	8	365

### ●にぎわい創出・育成事業

#### (3) チ・カ・ホLIVE

チ・カ・ホの利用者からも好評を得ているライブを札幌市内で活動している団体と協力して実施いたしました。通常のコンサートでは味わえない演者との距離感や客席の配置、演者のトークやレクチャーなど、チ・カ・ホで行う無料コンサートならではの楽しみ方を通じて、新たなファン層の拡大を図りました。

・Sapporo Sound Square（年6回）

・パークジャズライブ（年1回） 共催：サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会

#### (4) kuraché（クラシェ）

北海道を中心としたこだわりのある「つくり手」を募り、単に商品を販売するだけでなく、

モノづくりに込めた思いやこだわり・スタイルをお客様にお伝えし、「北海道の暮らしに新たなシーンを提案する」場として **kuraché** を開催しました。

毎回、テーマに沿った商品構成で展開し、ディスプレイ方法にも配慮しています。全体として統一感のある設えで視覚的にも魅力ある空間づくりを行い、都心部の賑わいの創出につなげています。今年度からは出展者数を 14 ブースに戻したコロナ前の会場レイアウトで、適宜消毒液を設置しながら開催しました。

実施期間：8月、9月、10月、12月、2月、3月 延べ 31 日間

実施場所：北 1 条イベントスペース（東）

出店料：4,206,420 円

#### (5) 北海道“みりょく”発信プロジェクト

北海道の各地で行われている、旬の魅力あふれる取組を紹介しました。このプロジェクトは、札幌駅前通地下歩行空間の国道部分を管理する北海道開発局札幌開発建設部との協働で実施しました。

実施期間：通年

#### (6) 北海道インフォメーションボード

地下広場の活用コンセプトの一つである「さっぽろ・北海道の魅力発信」を目的とし、北海道インフォメーションボードを設置しました。対象は、北海道内の市町村が主催、後援しているイベント・お祭り、または広く一般の方が参加可能なイベント・お祭りで、市町村が簡単に用意のできるチラシを掲示できるボードとしました。

実施日：通年

利用料：226,050 円（2022 年度売上 73,150 円）

#### (7) 地方自治体応援企画「CHIKAHO LOCAL CENTER」

コロナ禍で思うようにイベントができない地方自治体が遠方からでも出展がしやすいように、場所代と備品代をセットにした特別プランを期間限定で設定しました。また不慣れな札幌での出展をバックアップする協力体制をととのえ、イベントをしやすく、効率的な PR が行えるようになることで、北海道の活性化、さらには本州との架け橋にもなることを目指しました。

### ●地下広場活用事業

#### (8) まちなかサロン事業（憩いの空間・接続空間）

地下歩行空間は 520 メートルという長い空間であることから、椅子・テーブルを設置し行き交う人々が休み・憩うことが可能な空間（まちなかサロン）を創出しました。また接続空間

(日本生命札幌ビル、札幌三井 JP ビルディング、敷島ビル、札幌大通西 4 ビル、札幌フコク生命越山ビル、大同生命札幌ビル、ヒューリックスクエア札幌) に椅子・テーブルを設置することで、人々が滞留し、憩い交流できる空間を創出しました。

実施期間：通年

#### (9) 市民活動促進のためのパンフレットコーナー設置事業

日頃まちづくり活動に馴染みのない人たちの活動への理解、参加、寄付等の協力の促進を目的に、当施設内に情報コーナーを設置しました。

運営については、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会と協定を結び、事業を実施し、パンフレットラックやパネルの設置によるまちづくり活動団体の PR パンフレットやポスターを最大 72 件配架、掲示しました。

実施期間：通年

#### (10) チャリティーイベント等支援事業

東日本大震災による被災地の復興支援を目的として、当施設を使用し、開催される公共団体及び民間のチャリティーイベント等を関係団体と協力して実施しました。

実施期間：通年

#### (11) 研修・修学旅行生の受け入れ事業

札幌に宿泊研修や修学旅行で訪れる学生たちの活動の一環として行われる各地域の広報活動(観光 PR 等) に対して場所の提供を行う事業です。

利用数：4 校

#### (12) 『Sapporo City Wi-Fi』運用事業

モバイル端末によるインターネット利用が増加しており、無線 LAN 環境の整備の需要が高まっており、とりわけ、手軽かつ安価にインターネットに接続する手段を持たない海外からの来訪者からの無料の公衆無線 LAN の整備に対する期待があります。当施設においても札幌市で実施している「Sapporo City Wi-Fi」(以下、当 Wi-Fi) を導入し運営しました。

実施期間：通年

利用可能場所：各交差点広場付近

利用料金：無料

年間利用者数：142,099 (月平均：11,842 アクセス)

#### (13) 総合案内板設置事業

札幌市経済観光局所有のデジタルサイネージによる広告付きの観光案内板(総合案内板)を

地下歩行空間内にも設置することで、タイムリーな観光情報の発信を行います。また非常用電源を備え、災害時には街中で滞留している観光客にも情報提供をおこなっていきました。

実施期間：通年

利用可能場所：北1条イベントスペース（西）

利用料金：無料

#### (14) 札幌駅前通地下歩行空間における献血者呼び掛け計画

多数の通行者がいる地下歩行空間において、通行人に呼び掛けを行うことにより多くの献血者を献血ルームに誘導することができ、北海道における輸血用血液製剤の安定確保に迅速かつ大きな効果が期待できるため、献血ルームへの誘導告知を行いました。

実施期間：通年

主催：北海道赤十字血液センター大通献血ルーム・札幌駅前通まちづくり株式会社

#### (15) ヒューリックスクエア札幌 工事中仮囲い活用

ヒューリックスクエア札幌ビルは、2022年8月に1期工事部分が完了し2023年3月に開業。現在は2025年6月の2期工事完了に向けて工事が継続され、工事完了までの間、地下接続部には工事中仮囲いが設置されています。

この仮囲いが長期間設置されている状況では、1期接続部分の出入口がわかりづらく、地下広場の設置目的に照らしても好ましくないことから、通行者の利便性向上や地下広場の景観維持向上、にぎわい創出のため、接続空間の休憩スペースの一部にシステムパネルを設置し、施設案内等を掲出しました。

実施期間：通年

場所：札幌駅前通地下広場 接続空間（ヒューリックスクエア札幌前）

内容：システムパネルを設置し、施設案内等を掲出。

運営：ヒューリック株式会社、札幌駅前通まちづくり株式会社

#### (16) 緑化コンテナ設置事業

積雪寒冷地及び日照の確保が難しい屋内空間でも実施可能な取組である室内緑化の普及啓発、及び室内緑化による心地よい滞在・滞留空間の創出を図るため、通行者が多い札幌駅前通地下歩行空間において、フェイクグリーンを活用した緑化コンテナの設置管理等を行いました。

実施期間：通年

場所：憩いの空間・接続空間

内容：フェイクグリーンを活用した緑化コンテナの設置

協力：札幌市建設局みどりの推進部みどりの管理課

#### (17) G7 札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合関連事業

2023年4月に日本で開催されるG7サミットの関係閣僚会合のうち、「気候・エネルギー・環境大臣会合」が札幌市で開催されることが決定し、国や北海道、札幌市が協力し、地域全体でこの会合を受け入れ、盛り上げていくことが決まりました。会期が始まる前から会期終了までの間、札幌の目抜き通りに位置するチ・カ・ホではさまざまな装飾を行い、機運醸成に寄与しました。

期間：2023年4月1日（土）～4月17日（月）

場所：モニュメント設置：憩いの空間 ※北3条交差点広場（西）横4番階段付近

告知バナー設置：憩いの空間 他（1番出口・10番出口横）

主催：G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合実行委員会（事務局：札幌市経済観光局）  
札幌駅前通まちづくり株式会社

内容：開催に向けたカウントダウンモニュメント設置、告知バナー設置、他

#### (18) 春一番ゆうべつチューリップ便り！オープニングセレモニー

アカプラで2015年より湧別町様のご好意でチューリップをご提供いただき4月下旬からチューリップを展示する、「春一番、ゆうべつチューリップ便り」を開催しています。そのオープニングセレモニーとして、チ・カ・ホの北3条交差点広場（西）で開催しました。

日時：2023年4月25日（火）12:30～13:00まで

場所：札幌駅前通地下広場 北3条交差点広場（西）

内容：湧別町長からのご挨拶、チューリップポットの受け渡し式、チューリップポットとチューリップノベルティグッズの配布、かみゆうべつチューリップ公園のPR

運営：湧別町、札幌駅前通まちづくり株式会社

#### (19) さっぽろ八月祭 2023 関連事業

2015年度より開催されている「さっぽろ八月祭」（以下、「八月祭」）は、札幌駅前通地区のビジネスパーソンをはじめ、来街者の方々が夏のひとときを快適に過ごすことを目的に開催しており、こうしたイベントを通して、札幌駅前通地区の地域価値向上を目指しています。

昨年はマスク着用、人数制限ありの中で実施いたしましたが、今年は一部のコンテンツを除きほぼコロナ禍前と同じ規模で開催しました。

祭の象徴である大風呂敷やのぼり旗は感染症対策を行いながら修復作業を行い、毎回10～15人ぐらいのサポーターの方が修復作業に参加していただきました。

また、八月祭の更なる魅力発信とチ・カ・ホとアカプラを連動させることで都心部の賑わい創出につなげました。

期間：2023年4月29日（土）～7月29日（土）

場所：札幌駅前通地下広場 北3条交差点広場（東）・（西）

内容：大風呂敷の修復、のぼり旗の制作、会場の装飾、パンフレットラック設置他

## (20) SAPPORO Flower Carpet 2023

札幌市北3条広場(アカプラ)のオープニング記念として2014年に1回目が開催されました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行になったことから2年ぶりに市民ボランティアの募集を行い、関係者含め約500名で制作し、コロナ禍前の規模に戻しての開催となりました。

会場はメインのアカプラ以外に5会場で開催し、まちに彩りを与えると同時にまち歩きの機会を創出しました。こうした事業を通じて地上・地下連動した活性化につなげていきたいと考えています。

日時：2023年6月23日(金)～6月25日(日)

場所：札幌市北3条広場(アカプラ)、札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)、赤れんがテラス、JRタワー(札幌ステラプレイス そらのひろば ステラ9、東コンコース、moyukSAPPORO(～6月30日(金)まで)

主催：サッポロフラワーカーペット実行委員会、札幌駅前通地区活性化委員会  
(事務局：札幌駅前通まちづくり株式会社)

## (21) SAPPORO PERFORMANCE PARTY 2023

2018年に初開催されたSAPPORO PERFORMANCE PARTY(SPP)は、北の大都市・札幌の玄関口である札幌駅前エリアで複数の会場が一体となつてにぎわいを生み出すパフォーマンスフェスティバルです。今年度も2021～2022同様に大規模な開催は見送り、単一会場で2日間行うステージショー形式で行いました。

会場には座席を100席設け、出演パフォーマーは国内のみならず、今回初めて国外から外国人パフォーマーも招き、札幌だけでなく全国で話題となりました。また、当日は道外からお越しになったお客様も多く、会場はおおいに盛り上がり、札幌駅前通が特別なにぎわいを見せた2日間となりました。

日時：2023年9月9日(土)～10日(日)

会場：札幌駅前通地下歩行空間 北3条交差点広場(西)

出演：道内外のパフォーマー5組

## (22) Public Art Research Center 11 [PARC11]

「パブリック・アート・スクール」-アートとカルチャーをストリートで学ぶ8日間-

1日約7万人が行き交うチ・カ・ホを舞台に、公共空間の可能性を考えるPublic Art Research Center [PARC] (パーク)は、11回目のテーマは「パブリック・アート・スクール」です。公共空間の地下通路でアートとカルチャーを学ぶ環境をつくり、偶然誰かや何かと出会って新たな関係が生まれてしまう「学校」のような現象をチ・カ・ホにつくりだし、多様な芸術文化に

出会ってしまう機会を創出しました。

日時：2023年10月21日(土) - 10月28日(土) 12:00~18:00

会場：札幌駅前通地下歩行空間 憩いの空間北1条東①~⑨

主催：札幌駅前通まちづくり株式会社

共同企画：一般社団法人 PROJECTA

内容：アートにまつわる講座・ワークショップ

### (23) Public “Play” ces Project

「公共空間(Public Playces)」で「遊ぶ・楽しむ(Play)」イベントを行うことで親子の居場所・コミュニティの創造を図るプロジェクトとして、2015年からスタートしました。コロナ禍での中止を経て、今年は4年ぶり・第10回目の開催となりました。親子向けのワークショップイベントとしてDJ体験とクラフト体験の二つを楽しんで頂きました。

日時：2023年10月22日(日) 11:00~16:00

場所：札幌駅前通地下広場 北大通交差点広場(西)

主催：札幌駅前通まちづくり株式会社

協力：DJ スクール札幌 Mog Mog Kids

内容：親子を対象にした、ワークショップイベント

### (24) チ・カ・ホのお正月

例年貸出しを行わない年末年始に実施している「チ・カ・ホのお正月」を実施しました。毎年恒例の札幌南高等学校書道部の揮毫パフォーマンスでは、甲(きのえ)辰(たつ)の2文字と3頭の龍で、一筋の光明が未来へと永遠に続いていくことを祈念した作品を仕上げました。

風間天心氏の門松は干支の龍をモチーフに、パワフルな運気で物事を発展に導くと言われる中国の四神獣の一つである「青龍」でお正月らしさを演出しました。

今年も立ち寄りや記念撮影など多くの人が見られたほか、新聞等メディアにも取り上げられました。

期間：2023年12月28日(木) ~2024年1月4日(木)

場所：北3条交差点広場(西)

主催：札幌駅前通まちづくり株式会社

協力：北海道札幌南高等学校書道部(書道)、風間天心(水引飾り)

### (25) サッポロ・パラレル・ミュージアム 2024

サッポロ・パラレル・ミュージアムは、まちなかとウェブで鑑賞することができ、世界中のどこからでもアクセス可能な展覧会として2021年にスタートしました。3回目となる今回は札幌駅前通地区の6会場での作品展示の他、札幌で活動する作家のグッズなどが購入できるミュ

ージアムショップやスタンプラリー等を行い、回遊性のアップを目指しました。会期中はたくさんの方が各会場をまわり、アートを楽しみながらまち歩きを楽しんでいました。また、会場を提供してくださった施設側からもご好評いただき、エリアの価値向上に寄与いたしました。

期間：2024年2月3日（土）～2月11日（日・祝）

場所：憩いの空間 W・北1東

主催：札幌駅前通地区活性化委員会（事務局：札幌駅前通まちづくり株式会社）

## (26) 冬のチ・カ・ホのホイクシツ

これから増える「接続空間」や民間施設内と「憩いの空間」を一体的に活用することで空間の連続性を生み、まちの回遊性が高まることが空間活用の最大目的だと思われることから、これらを検証するために空間活用の実験を行いました。

北海道の若手保育者有志の会「保育カケル」が、普段保育の現場で使っているおもちゃや教材を持ち込み、触れて、遊べるスペースを創出しました。当日は1時間以上滞在する親子連れも多く見られたほか、アンケートによる満足度調査では「とても満足した」が83.9%、「満足した」が16.1%となり、高評価の企画となりました。

日時：2024年2月3日（土）～2月11日（日・祝）

場所：札幌駅前通地下広場 ヒューリックスクエア 接続空間

主催：保育カケル/NoMaps 実行委員会/札幌駅前通まちづくり株式会社

## (27) 人体改造カブ株式会社×健築®「worker walk week！」

札幌駅前通地区のまちづくりから健康づくりを考える事業「人体改造カブ株式会社」と、建物やまちの空間デザインから健康づくりに取り組む(株)竹中工務店の「健築®」チームが、「歩く」をテーマにチ・カ・ホ憩いの空間と、D-LIFEPLACE 札幌でイベントを開催しました。

3月10日（日）にチ・カ・ホで実施した人体改造カブ株式会社によるフレイルチェックでは、3時間で30名ほどが参加。会期中設置していた(株)竹中工務店の歩幅計測マット「ステップ・るーらー」は、1日5時間程で、毎日50名以上が参加するなど、健康づくりへの意識が高まっていることが伺えました。また、アンケートから「健康状態を知ることができた」「気軽に参加できた」など、チ・カ・ホで開催したことに対する好意的なご意見を多数いただきました。

日時：2024年3月10日（日）～3月16日（土）

場所：憩いの空間 W側

主催：札幌駅前通まちづくり株式会社、株式会社竹中工務店

## 資料 11 環境配慮への取組結果

札幌駅前通地下広場管理業務仕様書第4-1-(3)の「環境配慮の推進」の取組結果について、下記のとおり報告します。

### 記

1. 日常業務における OA 機器の省エネモード設定及び不使用時の電源断を徹底した。
2. 業務の IT 化を図ることで、業務時間の短縮による省エネルギー及びペーパーレスによる省資源化を図った。
3. ごみ減量のため、ミスコピー紙の裏面活用を徹底した。
4. 備品については、グリーン購入ガイドライン指定品を購入するよう心がけた。
5. 清掃業務において、毒素を含まない洗剤を使用するなど、各業務遂行にあたり必要となる備品・消耗品等については、環境に配慮した製品を採用するよう心がけた。
6. 広場の利用者にはゴミの持ち帰りをお願いした。
7. 札幌駅前通まちづくり株式会社研修計画書に基づき、環境配慮に向けた研修を実施した。

引き続き、環境配慮については、職員は常に心がけることとし、利用者に対する協力依頼を続けていきたい。

以上